



はじめに（平成 22 年 3 月一般質問）

民主党政権に代わり、半年が経ち多くの県民の皆様から様々な意見をお聞きしますが、最近特に、「選択的夫婦別姓の導入」には反対だという不安の声が大きくなっています。

国民世論も賛否が拮抗しておりますが、行き過ぎた個人主義を助長し、家族の一体感が損なわれるという意見が強いようです。また、中高生の 6 割以上が「両親の別姓」を嫌がっているというデータもありました。

夫婦別姓が 2 代 3 代と続いていけば、家族の姓がばらばらになり、家族親戚の概念は薄れていき、ひいては、家庭の倫理の源泉が失われ、家庭の力は落ち、子どもの成長にも悪影響を及ぼしかねません。

むしろ、今必要なのは、夫婦同姓を基本とし、親子の絆を強め、家族や家庭の機能を回復する方策ではないでしょうか。

夫婦別姓問題は、日本の家庭のあり方を根本的にゆるがすもので、日本の国柄や家族制度のあり方に関する重要な問題だと思います。

どうか、国においては、拙速に決めることなく、国民の意見をしっかり聞いて欲しいと思っております。